

坊中のまちおこしイベント開催！

坊中会主催 第1回駅前市



まちおこしイベント第1回駅前市が10月13日、JR阿蘇駅前の広場で行われました。

この催しは坊中地区の商店などで行われる坊中会（江藤俊一代表）が主催したもので、イベントを通して地域の活性化を図ろうと行われたものです。

当日はフリーマーケットをはじめ、阿蘇の特産品販売や地元商店による露店が出店し、市内外からの多くの人で賑わいました。

また、夜には竹灯籠に火を灯す「竹灯り」が設置され、阿蘇駅周辺に幻想的な光景が広がりました。

なお、駅前市のイベントは地域を盛り上げるため、今後も定期的に開催予定とのことです。

被災した学校にサッカーボールを！

サッカーJ1の試合でボールを贈るプロジェクト



今年7月下旬に北海道で開催されたJ1リーグの試合で、「コンサドーレ札幌」が協力しピースボールプロジェクトという取り組みを行いました。

この取り組みは、主に発展途上国の子どもたちにボールを届ける事業としてピースボールプロジェクトという団体が不定期に実施しており、今回は甚大な被害を受けた阿蘇市に寄贈しようということで、その試合を観戦した観客から約50個のボールが集められました。

さっそく阿蘇市に届けられたボールは、今回の災害で被災した古城小・内牧小・尾ヶ石東部小・阿蘇中・波野中にそれぞれ届けられました。

郷土料理で阿蘇の豊かな恵みを再確認

阿蘇中央高校で郷土料理講習会



阿蘇中央高校（清峰校舎）の2年生が、家庭科学習の一環で9月から10月の3回にわたって、郷土料理の実習に取り組みました。

講師は阿蘇市生活研究グループの会（大和ふゆ子会長）の14名で、阿蘇の郷土料理である「だご汁」をはじめ、阿蘇の特産品の高菜をふんだんに使った「高菜めし」などを作りました。

生徒たちは講師の指導に真剣に耳を傾け、郷土の味を再現していました。また、郷土料理講習を通して、阿蘇の豊かな恵みを再確認していました。

「今、私たちにできることを考える」

阿蘇市レジ袋削減講演会



一層のレジ袋削減に積極的に取り組んでもらおうと10月18日、阿蘇保健福祉センターで阿蘇市レジ袋削減講演会が行われました。

講師に、NPO法人くまもと温暖化対策センター顧問を務める宮原美智子氏を招き、「地球環境を守るために私たちに出来ること」と題し、レジ袋削減に向けたこれまでの取り組みの紹介や地球温暖化問題、レジ袋削減の必要性について講演されました。

この日は、ゴミ問題等に関心を寄せて120人以上が参加し、宮原氏の講演を熱心に聞き入っていました。皆さんも環境を守るためにマイバッグを持参するなど、すぐにできることを実践しましょう！

視覚障がいのある園田さんマラソンで活躍！
札幌マラソンに招待選手として出場

今月の **Pick up!**

内牧でマッサージ院を営む園田義和さん（48歳）は、3月に行われた沖縄マラソン（10km）で上位ゴールしたことで、見事第37回札幌マラソン（10月7日）の招待選手に選ばれ、同大会でも自己最高記録を更新し健闘しました。

▼札幌の地で力走した園田義和さん（左）と伴走した園田浩文さん。

園田さんは30歳半ばからベーチェット病により急激に視力を失い、仕事を転換するなど苦労をされてきましたが、6年前にマラソンと出会い、以来、阿蘇市内で伴走つきマラソンをしている先輩のアドバイスを受けながら数多くの大会に出場しています。「病気だからできないっ！と思わないように何でも挑戦し頑張っています」と園田さん。

今回、札幌では、ぜひ成果を出したいと阿蘇北中時代陸上部の先輩だった園田浩文さん（西湯浦）に伴走を依頼し、友情も支えとなり見事自己ベストを果たせたものです。



タイの高校生が阿蘇市で国際交流

平成24年度ヒゴタイ高校生体験交流事業



日本に対する理解増進と青少年の交流を通じて、次世代のリーダーを養成することを目的にタイの高校生30名が10月19日から28日までの10日間にわたり、阿蘇市に滞在しました。

これは「ヒゴタイ高校生体験交流事業」などの一環として毎年行われているもので、初日は阿蘇市役所庁舎に表敬訪問し、タイで日本語を学んでいることから、生徒全員が自己紹介を日本語で披露しました。

期間中はホームステイ体験や阿蘇中央高校の生徒との学校生活体験などが行われ、国際交流が積極的に行われました。

プロの絵描きによる漫画教室に大喜び！

放課後子ども教室



本誌でも、阿蘇の懐かしい生活などのイラストを連載中のイラストレーターあべまりあさんが、市内3つの小学校の放課後子ども教室で「漫画教室」を開き、子どもたちに大変喜ばれました。

漫画教室では、“漫画を描くのがうまくなる”をテーマに、喜怒哀楽の表情をした顔、体の動きに挑戦。言われた通りに描いていくとふしぎふしぎ、楽しい漫画になり、子どもたちは夢中で取り組みました。最後に、あべさんオリジナルソングでの健康体操や詩の朗読もあり、貴重な体験ができました。

2日間にわたり35チームが熱戦!

西日本シニアソフトボール大会



59歳以上を対象とした第16回西日本シニアソフトボール大会が、10月13、14日、農村公園あびか他阿蘇市内のグラウンドで開催され、17県720人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会は、阿蘇郡市ソフトボール協会の協力のもと開催。12日に阿蘇体育館で行われた開会式には、阿蘇中学校吹奏楽部が華を添え、生演奏のもと入場行進などが行われ、盛大な式典に選手の皆さんも感激した様子でした。

各県から集った選手たちは雄大な阿蘇の景観の中、プレーを楽しみ交流が図られました。

「美しい阿蘇を取り戻そう!」が合言葉

カルデラCUPサッカー大会



豪雨災害で被災した阿蘇。その阿蘇を“サッカーの力で元気にしよう! 美しい阿蘇を取り戻そう!”という願いのもと、第1回カルデラCUPサッカー大会(7~9歳対象)が10月20日、県民運動公園で開催されました。

今大会では、復興募金やメッセージなどの支援活動をはじめ、県内外チームとの交流、技術アップなどが図られました。開会式では、68チームを代表し、阿蘇市から出場した「カルディアッツ」チームの3人が力強く選手宣誓を行いました。

なお、復興募金については後日、大会代表の森本和博さんが阿蘇市役所を訪れ、試合の報告とともに佐藤市長に手渡されるということです。

氏子青年が夜渡相撲を奉納

霜神社 夜渡祭



役犬原の霜神社で、8月19日から59日間火が焚き続けられた火焚き神事は、10月16日に終わりを迎え、乙女揚げ神事が行われました。今年は大役犬原が年番で、2人ずつ当番で24時間火が消えないよう管理し、ご神体を温め続けられました。

18日は夜渡祭が行われ、神官による夜渡神楽や氏子青年による夜渡相撲を奉納。青年たちは、地元の人たちの声援を受けながら力いっぱい取り組み、祭りを盛り上げました。また、神社やその周辺には竹灯りが飾られ、参拝者の目を楽しませました。

熊本市の子どもたちが阿蘇を知る学習

各所で市民の方々が説明協力



熊本市の出水南中学校1年生が10月15日、授業の一環で阿蘇の歴史・文化・自然を知る学習を阿蘇市内で取り組み、阿蘇神社など各所で市民の方々が説明協力を行いました。

昔遊びの学習に取り組んだ生徒たちは、あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館(うなり茶屋2階)を訪れ、同館で毎月第4土曜に昔遊びを教えている山部チモトさん(東3区)ら4人から竹ヒゴ白黒あそびなど24種類を学びました。

※山部さんたちは、毎月第4土曜午前11時~12時に「昔のうた」を歌い楽しむ催しを行っています。ぜひご参加ください。